

## 思うままに

片山 量平（全農岡山県本部・旧経済連OB）

今、口蹄疫が宮崎県で発生し、大きな話題を呼んでいます。本県に飛び火しないことを願っています。

法定伝染病で直ぐ頭をよぎるのは、本県で昭和41年、津山市高野で発生したニューカッスル病です。

当時、岡山市内の経済連本所に勤務していたかと思いますが、急きょ出張命令が出て、津山市二宮にあった家畜保健衛生所に駆けつけました。

当時の所長さんは中島さんだっと思いますが、所長の机に座らずに、ねじり鉢巻きで立っておられる姿を見て、緊急事態を悟りました。

一週間余り応援したと思います。適切な指示命令で、最初はワクチン接種を外周から行い、最後に殺処分現場に入りました。

殺処分にあたり養鶏場の人と県の責任者の交渉にかなり時間がかかったのも思い出します。

宮崎県での種牡牛の生産者の殺処分拒否の気持ちは法定伝染病とは言え、痛いほど分かります。

殺処分後、津山市野村方面に大きな穴を掘り、焼却したと思いますが、今は処分方法も変わっているのでしょう。早く終息し、元気に再生産が出来ることを願って止みません。

私のことで恐縮ですが、昭和36年に旧経済連に奉職しました。本当によい時代に巡り合ったとつくづく振り返っています。

伊沢八郎「ああ上野駅」が当時の世相をよく表した歌で、好きでよく愛唱しますが、今の若い人の就職難について、大変な時代に巡り合わ

せになったなど、どの様な対応策があるのか、どう道を開いていけばと思いを巡らしているところです。

畜産も伸ばせ、伸ばせの時に、今では夢の様な時代であったと思います。養鶏、養豚、和牛等々に楽しく携わらせて頂き、関係者に唯々感謝しています。

経済連退職後、一寸の間、食鳥検査に携わりましたが、日本の衛生環境は素晴らしく進歩している事を痛感しています。

鳥インフルエンザが時々話題になりますが、身近に起こらないことを願っています。

現在は、田舎で農業の合間に下手なG(碁、ゴルフ)に勤しんでいます。

思うままに筆を進めましたが、畜産振興を祈念して筆を置きます。